



三浦半島労福協ニュース

NO. 75

〒238-0006 横須賀市日の出町1-5 ヴェルクよこすか3F 三浦半島地域労働者福祉協議会
発行人：中澤謙介 編集人：許斐正典、篠原恭久

2024年7月18日発行

フードバンクかながわ学習会 & メーデーなどで集めた食料寄贈!



6月19日(水) 14時から、フードバンクかながわを訪れ、2024 三浦半島統一メーデーなどで集めた食料寄贈及び体験学習会を10名の参加で行いました。

はじめに座学を行い、フードバンクかながわの設立経緯、ここまでの状況などの説明を受けました。設立して7年目に入り、新型コロナウイルスや急激な物価高騰などの影響で、食料に困っている方が増加、想像以上のスピードで事業が拡大して来ていること、対応するための苦労や、昨年度から冷凍食品を受け入れ可能にする工夫などの聞くことが出来ました。

その後、食料寄贈を行い、2024 三浦半島統一メーデー期間に集めた食料【お米59点・103.1キロ、副食80点・16.4キロ】を寄贈しました。

食料寄贈後は体験学習会、三浦半島統一メーデーで持ち寄った食品の計量と仕訳をおこないました。

お米以外の食品は仕訳を行います。まずは主食・副食・飲料などに分け、その後、賞味期限別に分けていく作業を約1時間半に渡り行い、16時過ぎに終了しました。一方お米は、実際の作業は出来ませんでした。



様々な方に状況を確認つつ、支援をして行くことが出来るように1.5キロごとに小分けをすることを聞くことが出来ました。(現在はお米不足のために1.2キロに減量)

今回もフードバンクかながわの倉庫は食料不足している状態でした。このような体験学習会は単組でも実施出来ます。是非、開催し、フードバンクかながわへの理解を深めて今後も、フードドライブ活動へのご支援ご協力をお願いいたします。

三教組とコラボ事業『平和作品展』、『親子映画会』告知!

第36回 平和作品展

三教組と三浦半島労福協とのコラボ事業をしています、「平和作品展」が8月2日から5日にかけて、「親子映画会」が8月3日にそれぞれ開催されます。どちらも、どなたでも無料で参加することができます。三浦半島の子どもたちの自由でのびのびとした作品や、ハンセン病の差別に屈することなく生き抜く人たちをえがいた「あん」を鑑賞し、「平和・人権」について考える一日をつくってみてはいかがでしょうか。みなさんのご来場をお待ちしております。



期間・8月2日(金)

～8月5日(月)

9:00～16:00

会場・横須賀三浦教育会館

2階ホール・ホワイエ

平和への願いをこめた絵画など、三浦半島の子どもたちの作品展です。平和資料・ビデオ上映コーナーもあります。

* 入場無料

主催：三浦半島地区教育文化研究所
公益財団法人・横須賀三浦教育会館
後援：横須賀市・三浦市・蓮子市・葉山町の各教育委員会

【作品募集】
平和への願いをこめて、絵画、造形作品などをお寄せください。
・締 切：7月26日(金)まで
・選出先：横須賀三浦教育会館
* 作品は展示後、返却します。
・問い合わせ 046-824-2442



2024年度・親子映画のご案内 (DVD上映)

と き 8月3日(土) 入場無料

午前・午後とも当日先着100名

と ころ 横須賀総合高校シーホール

* 駐車場が狭いため、公共交通機関をご利用ください。

※京浜急行、京急久里浜駅より徒歩10分

☆親子(保護者と)、でのこ来場を、おすめします。

上映作品

「あん」113分 主演：樹木希林



世界では、今なお毎年20万人のひとたちが新たにハンセン病を発症しています。そういふ意味では、まだ忘れてはいけない病気です。また、徳江のように、国の隔離政策に屈することなく生き抜いた人たちのことを、今の子どもたちにも伝えていきたいですね。どう伝えていくかは僕も思案のしどころですが、まずは「あん」を読んでいただき、映画を観ていただければ、と思います。

原作者 ドリアン勲川 (Wikipedia)

【午前の部】 開場 9:30 上映10:00～11:55

【午後の部】 開場13:00 上映13:30～15:25

【入場無料】

労働福祉団体(中央ろうきん&こくみん共済coop)セミナー開催!



7月19日(金)18時から、横須賀三浦教育会館2階ホールにて、57名参加のもと『三浦半島労福協・地域連合共催の労働福祉団体セミナー』を開催しました。

冒頭、中澤会長からは、福祉団体を推進する理由を答



えられない組合員が増えている現状から、労金、こくみん共済coopが「助け合い」の理念のもと事業をしていることや、本セミナーを若い組合員に説明する一助としてほしいという挨拶がありました。次に県労福協の金井事務局長からは、自助の重要性や労福協の理念でもある助け合いの精神を学んでもらいたいと挨拶がありました。

その後セミナーをスタートして、ろうきんからは、現在の市場動向を説明したうえで、分散投資、定時定額、マーケットが上下しても継続すること、等の資産形成のアドバイスがありました。こくみん共済coopからは、共済金支払の約87%が自然災害によるものであり、日本においては台風・大雨災害が世界平均の2倍であることから、自然災害に備えた保障が必要であること、「住みいる共済」について、地震災害の多くが「一部損」であり、その保障が手厚いこと、等の情報提供がありました。

最後に今井副会長から、春闘の賃上げから得た可処分所得の向上を福祉団体と連携してとりくむことの重要性を職場の仲間に伝えていただくことをお願いし、セミナーを終了しました。



小規模住居型児童養育事業『ファミリーホーム・ともしび』のご紹介

三浦半島労福協は、これまで『鎌倉児童ホーム』、『葉山幸保愛児園』、2つの児童養護施設とお付き合いをしてきましたが、日頃からお付き合いをしていました『鎌倉児童ホーム』の職員が独立して、横須賀市秋谷に養育事業施設「ファミリーホーム ともしび」を立ち上げたということを知り、今年の3月に施設を訪問するなどしてコミュニケーションを深めてきました。

「ファミリーホーム」は厚労省が定めた第二種社会福祉事業で「グループホーム」と「里親制度」の中間的な施設であり、子どもの数は5~6名であることを知りました。(詳細は[ファミリーホームともしび | Yokosuka-shi Kanagawa | Facebook](#)をご覧ください。)



国は1,000施設をめざしているものの、現在全国450ヶ所、神奈川県でも横浜市・川崎市などに数ヶ所、三浦半島内においては横須賀市に3ヶ所しかない状況であり、その知名度から「グループホーム」のような様々な支援が届かないことも知りました。

以上のことから、三浦半島労福協・地域連合として、横須賀市であること、小規模施設であることなどから、3つ目の児童施設の支援の可能性を考えて検討し、7月9日、三浦半島統一メーデーを中心に実施した「タオル一本運動」で集まったタオルを寄贈したところです。今後も『鎌倉児童ホーム』、『葉山幸保愛児園』とともに、可能な支援を検討していきたいと思っております。